

## 第 62 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト千葉県大会参加規定

(詳しくはコンテストの Web サイト [http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon\\_h/youkou.html](http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_h/youkou.html) よりダウンロードした『校内放送研究 166 号』を参照して下さい。)

- \* 1. コンテスト各部門の規定では詳細にわたって書かれていますが、参加部門の規定をご確認下さい。(研究発表部門→P1 アナウンス部門・朗読部門→P2 番組部門→P3～P5)
- \* 番組部門に参加される場合は、2. 著作権処理について(P6)をご確認下さい。

### 1. コンテスト各部門の規定

#### 研究発表部門

- (1) 日常の校内放送活動の中から、問題解決の努力または技術的な創意工夫などを機材調整を含め **8 分以内** で発表します。発表者は機器操作を含め **3 名以内** とします。
- (2) 発表内容は、校内放送に関するものに限り、問題解決の結論を重視するものとします。(校内放送の技術、機材、アナウンス・朗読の技術、番組の制作や編集の技術、部活動・委員会活動の運営方法など) 発表で使用するパソコンのデータは 5MB 以内とする。
- (3) コンテストの他部門にエントリーしている作品に関連する内容、または類似の内容であってはなりません。本年度のコンテスト参加作品の上映は、一部であっても認めません。
- (4) 発表形式は、主にパソコンを使用したスクリーン 1 面によるプレゼンテーションとします。
- (5) 発表時間内であれば、印刷物の配布や両手で掲げることのできる大きさのものを提示しても構いません。
- (6) 発表で使用するアプリケーションソフトウェアは、PowerPoint2010、Word2010 (インターネットには接続できない) とします。使用機材はノートパソコン、CD ラジカセ、DVD プレーヤー (パソコン本体のドライブの使用が望ましい)、マイク 2 本、レーザーポインターです。
- (7) 参加申込みは 1 校 1 研究のみとします。
- (8) 提出物は以下の通りです。
  - ① 研究内容の要旨 2 部(研究の目的・方法論・結論をまとめたもの。A4 用紙 200 字程度)とそのテキストデータ(USB メモリーに記録、番組部門を含め複数の作品を提出する場合は 1 つの USB メモリーにまとめる)
  - ② 発表で使用するパソコンのデータ(5MB 以内、様式 4 を印刷した CD-R に記録する)
  - ③ 番組進行表 2 部(A4 用紙、両面印刷はしない、左上を綴じる)
    - \* 番組進行表(研究発表用)は、校内放送研究 166 号様式 2-1～2-5 に従って作成して下さい。
    - \* 様式 2・様式 4 はコンテストの Web サイトよりダウンロードします。
- (9) 著作権処理が必要なもの(音楽、BGM、写真など)については、コンテスト利用のための許諾を文書で得て、番組進行表に添付して下さい。62 回大会から、JASRAC・レコード会社関連の音楽著作物以外について、取材関係者に配布する様式「ご協力のお願ひ」、著作物等の許諾に関する様式 2-5「取材許諾と著作物等ご提供のお願ひ」を使用する事になります。取材対象者や著作物権利者に「ご協力のお願ひ」を配布し、依頼の趣旨を説明します。作品内での著作物利用の許諾に関しては全国統一の様式 2-5「取材許諾と著作物等ご提供のお願ひ」を使用し許諾を受けて下さい。既に取材をされている学校は、上記に限りません。様式 2-5 の備考欄には、番組進行表(使用著作物一覧表)と同じ著作物番号を記入し、様式 2-5 の右上にもその番号を朱書して、番組進行表に添付して下さい。
- (10) 著作権フリーの場合、素材のタイトル(曲名)が記載された部分のコピー(A4縦)と、著作権処理不要(使用条件)が記載された文面のコピー(A4縦)を、番組進行表に添付して下さい。コピーの右上に著作物番号を朱書します。(アーキー「School Lifeシリーズ」・EXインダストリー「著作権フリー音楽CD」の利用では、コピーの添付は不要です。)

- (11) 発表で使用するパソコンのデータ・番組進行表は、封筒に入れて提出して下さい。  
封筒の表面には参加部門名、学校名、作品名を明記して下さい。
- (12) 予選において発表を行い、県代表を決定します。本選においても発表を行う予定です。本選での発表は、大会運営上なくなることもあります。
- (13) 県代表は全国大会において「校内放送研究発表会」で発表を行います。

## アナウンス 部門

- (1) 自校の校内放送に使用する内容とし、原稿は生徒が自作したものに限りません。
- (2) 番号、氏名を含め 1 分 10 秒以上 1 分 30 秒以内でアナウンスします。学校名は読みません。
- (3) 原稿は校内放送研究 166 号様式 1 により、A4 用紙 2 つ折で作成し、2 部提出します。  
(様式 1 はコンテストの Web サイトよりダウンロードします。)
- (4) 全国大会に推薦された場合、アナウンス原稿の内容を入力したデータを後日提出します。

## 朗 読 部門

- (1) 次の指定作品の中から 1 編を選び、自分の表現したい部分を抽出して朗読します。  
作品の改変は認めません。作品の抽出は、文頭から開始し、文末で終了とします。文の途中からの開始や終了は改変と見なし規定違反となります。本文中の( )内は、読み仮名や訳者注以外は読みます。

### < 指定作品 >

① 山椒魚	井伏 鱒二 作	(新潮文庫)
② 少年記	外山 滋比古 作	(中公文庫)
③ 図書館の神様	瀬尾 まいこ 作	(ちくま文庫)
④ 若草物語	L・M・オルコット 作	吉田 勝江 訳 (角川文庫)
⑤ 伊勢物語		

- \* ①・②・③については、収録作品のいずれを選んでも構いません。①・③についてはは選定した短編名を作品名として読みます。
- \* ②については、「少年記」をタイトルとして読みます。
- \* ⑤(古典)については、現代語訳は不可です。出版社は問いません。
- \* 文章中の短歌・俳句は繰り返して読まないで下さい。
- (2) 番号、氏名、作者名(訳者名は読まない)、作品名を含め 1 分 30 秒以上 2 分以内で朗読します。学校名は読みません。
- (3) 原稿は校内放送研究 166 号様式 1 により、A4 用紙 2 つ折で作成し、2 部提出します。  
①～④については原稿表紙に、抽出部分の開始ページ数を記入します。  
(様式 1 はコンテストの Web サイトよりダウンロードします。)

## 番組各部門

参加作品を地域番組や夏のティーンズラジオ・ティーンズビデオなどで放送することがあります。また、イベントやホームページ等に利用することがあります。制作にあたっては、番組に登場する出演者、協力して頂いた方々などに利用のための許諾を得て下さい。許諾が得られないときには放送できないことがあります。

### 1 ドキュメント部門（ラジオ・テレビ各部門）

- (1) 高校生活や地域社会とのかかわりの中に広く素材を求め、ラジオ・テレビの特性を生かして制作された、高校生としての視点を大切にしたい、独創的な作品であること。
- (2) 各部門に1校1作品の参加とします。ラジオドキュメント部門・テレビドキュメント部門のそれぞれに参加することができます。（最大1校2作品）
- (3) 提出物は以下の通りです。
  - ① 作品(審査用ならびにバックアップ用)
  - ② 番組進行表2部(A4用紙、両面印刷はしない、左上を綴じる)
    - \* 番組進行表は校内放送研究166号様式2-1~2-5に従って作成して下さい。
    - \* 様式2はコンテストのWebサイトよりダウンロードします。
  - ③ 制作意図を入力したデータ(USBメモリーに記録、複数の作品を提出する場合は、データ等を1つのUSBメモリーにまとめる)
- (4) 著作権処理が必要なもの(音楽、BGM、写真など)については、コンテスト利用のための許諾を文書で得て、番組進行表に添付して下さい。62回大会から、JASRAC・レコード会社関連の音楽著作物以外について、取材関係者に配布する様式「ご協力のお願い」、著作物等の許諾に関する様式2-5「取材許諾と著作物等ご提供のお願い」を使用する事になります。取材対象者や著作物権利者に「ご協力のお願い」を配布し、依頼の趣旨を説明します。作品内での著作物利用の許諾に関しては全国統一の様式2-5「取材許諾と著作物等ご提供のお願い」を使用し許諾を受けて下さい。既に取材をされている学校は、上記に限りません。様式2-5の備考欄には、番組進行表(使用著作物一覧表)と同じ著作物番号を記入し、様式2-5の右上にもその番号を朱書して、番組進行表に添付して下さい。
- (5) 著作権フリーの場合、素材のタイトル(曲名)が記載された部分のコピー(A4縦)と、著作権処理不要(使用条件)が記載された文面のコピー(A4縦)を、番組進行表に添付して下さい。コピーの右上に著作物番号を朱書します。(アーキー「School Life シーズ」・EXインダストリー「著作権フリー音楽CD」の利用では、コピーの添付は不要です。)
- (6) 作品(審査用ならびにバックアップ用)・番組進行表は、作品ごとに封筒に入れて提出して下さい。封筒の表面には参加部門名、学校名、作品名を明記して下さい。

☆ 以下は、ラジオ部門・テレビ部門の各規定です。

#### 【ラジオドキュメント部門】

- ① ラジオドキュメント部門では6分30秒以上7分以内でまとめます。
- ② 作品の最後には「制作は〇〇高等学校(放送部・放送委員会等)でした。」というクレジットコールを入れます。クレジットコールには、クレジットコール以外の音声(BGM・SEなど)を入れないこと。
- ③ 計時は最初の音から、クレジットコールの終わり(……でした)までとします。
- ④ ラジオ部門の作品は、CD-DA形式(音楽CDと同じ形式)で録音されたCD-Rで提出します。審査用ならびにバックアップ用を上記のメディア・形式で提出して下さい。
- ⑤ CD-Rには、校内放送研究166号様式4に必要事項を入力したものを、レーベル面に直接印刷して下さい。(様式4はコンテストのWebサイトよりダウンロードします。)

## [テレビドキュメント部門]

- ① テレビドキュメント部門では7分30秒以上8分以内でまとめます。
- ② 作品の最後には、「制作 ○○高等学校(放送部・放送委員会)」のような、クレジットを入れます。
- ③ 作品の前後には5秒ずつ、様式3(校内放送研究166号)のテストパターンを入れます。テストパターンを改変してはいけません。テストパターンのアスペクト比は作品のアスペクト比に合わせる。テストパターンはコンテストのWebサイトからダウンロードします。
- ④ 計時は初めのテストパターンの終了時から、終わりのテストパターンの始まりまでとします。
- ⑤ テレビ放送番組等の再録を主体としたものは認めません。
- ⑥ テレビ部門の作品は、DVD-VIDEO形式(NTSC規格、アスペクト比4:3か16:9)で録画されたDVD-R(メニューは付けない)で提出します。審査用ならびにバックアップ用を上記のメディア・形式で提出して下さい。
- ⑦ DVD-Rには、校内放送研究166号様式4に必要な事項を入力したものを、レーベル面に直接印刷して下さい。(様式4はコンテストのWebサイトよりダウンロードします。)

## ② 創作ドラマ部門 (ラジオ・テレビ各部門)

- (1) 脚本は参加資格を有する自校生徒のオリジナル作品であること。  
(文芸作品などからの脚色や改作は認めません。)
- (2) 出演者は自校生徒に限ります。
- (3) ラジオ部門・テレビ部門とも8分以内でまとめます。
- (4) 各部門に1校1作品の参加とします。創作ラジオドラマ部門・創作テレビドラマ部門のそれぞれに参加することができます。(最大1校2作品)
- (5) ラジオ部門・テレビ部門の作品規定時間以外の各規定は、前頁のドキュメント部門を参照して下さい。
- (6) 提出物は以下の通りです。
  - ① 作品(審査用ならびにバックアップ用)
  - ② 番組進行表2部(A4用紙、両面印刷はしない、左上を綴じる)
    - \* 番組進行表は校内放送研究166号様式2-1~2-5に従って作成して下さい。
    - \* 様式2はコンテストのWebサイトよりダウンロードします。
  - ③ 制作意図、あらすじを入力したデータ(USBメモリーに記録、複数の作品を提出する場合は、データ等を1つのUSBメモリーにまとめる)
- (7) 著作権処理が必要なもの(音楽、BGM、写真など)については、コンテスト利用のための許諾を文書で得て、番組進行表に添付して下さい。62回大会から、JASRAC・レコード会社関連の音楽著作物以外について、取材関係者に配布する様式「ご協力のお願い」、著作物等の許諾に関する様式2-5「取材許諾と著作物等ご提供のお願い」を使用する事になります。取材対象者や著作物権利者に「ご協力のお願い」を配布し、依頼の趣旨を説明します。作品内での著作物利用の許諾に関しては全国統一の様式2-5「取材許諾と著作物等ご提供のお願い」を使用し許諾を受けて下さい。既に取材をされている学校は、上記に限りません。様式2-5の備考欄には、番組進行表(使用著作物一覧表)と同じ著作物番号を記入し、様式の右上にもその番号を朱書して、番組進行表に添付して下さい。
- (8) 著作権フリーの場合、素材のタイトル(曲名)が記載された部分のコピー(A4縦)と、著作権処理不要(使用条件)が記載された文面のコピー(A4縦)を、番組進行表に添付して下さい。コピーの右上に著作物番号を朱書します。(アーキー「School Life シーズ」・EXインダストリー「著作権フリー音楽CD」の利用では、コピーの添付は不要です。)
- (9) 作品(審査用ならびにバックアップ用)・番組進行表は、作品ごとに封筒に入れて提出して下さい。封筒の表面には参加部門名、学校名、作品名を明記して下さい。

## ☆ 番組進行表の書き方

詳しくは、校内放送研究 166 号(P24～P28)を参照して下さい。番組進行表は、以下の用紙からなります。

- (1) 表紙(様式 2-1)
- (2) CUE シート(様式 2-2)
- (3) 著作物一覧表(様式 2-3)
- (4) 著作物利用の許諾に関する書面(「取材許諾・著作物等ご提供のお願い(様式 2-5)」、JASRAC の「録音利用許諾書」または「映像ソフト録音利用許諾書」、レコード会社の「音源使用申請に対する回答書」など)

### [番組進行表を作成するときの注意点]

- (1) 表紙(様式 2-1)
  - ① 作品名は全角 15 文字以内とします。
  - ② JASRAC から利用許諾を受けた著作物(楽曲)がある場合は、エントリーシール貼付欄の下にある「日本音楽著作権協会」の右側に許諾番号を記入します。
  - ③ 確認欄(用紙の下)には、各校顧問によりチェックと氏名を記入します。
- (2) CUE シート(様式 2-2) ⇒ 著作物に関してどの時間にどんな著作物を使うかを明記する。
  - ① 音声レベルは、音楽(BGM)・効果音・ラジオ番組のニュースなどの音声を伴う著作物を使う際、音声レベルを線で表示します。(フェードイン・アウト / \、カットイン・アウト □)  
\* レーションやインデュを音声レベルで表示する必要はありません。
  - ② 時間は、①で示した著作物を使う時間(始めと終わり)や、レーションやインデュが入る時間や、その他の著作物(写真・手紙・新聞記事・美術品など)を使う時間(始め)を明記します。
  - ③ 著作物の欄では、使用著作物一覧表(様式 2-3)で示した著作物番号と分類を明記します。**著作権処理が不要なもの(許諾書類が不要な著作物)には、番号に○を付けます。**
  - ④ 内容の欄では、使用著作物一覧表(様式 2-3)で示した著作物名や、レーションやインデュの始めと終わりを明記します。例：レーション「私達の学校では…が始まりました。」
- (3) 使用著作物一覧表(様式 2-3) ⇒ 使用する著作物を全て明記します。
  - ① 著作物番号は、CUE シート(様式 2-2)で示した著作物番号と対応させます。**著作権処理が不要なもの(許諾書類が不要な著作物)には、番号に○を付けます。**
  - ② 分類では、楽曲(←BGM)・効果音・写真・新聞・出版物(←雑誌や PTA だよりなど)・手紙・美術品・ラジオ番組(←NHK ニュースなど)を明記します。
  - ③ 著作者名と著作隣接権者名ならびに許諾書について
    - 音楽の作詞者や作曲者、写真の撮影者、手紙を書いた人、新聞社、美術品の製作者などは、著作物に対する権利を持っています。作品内で著作物を利用する場合は、著作物の権利者に「ご協力のお願い」を配布し、全国統一の様式 2-5「取材許諾と著作物等ご提供のお願い」などにより許諾を受けて下さい。
    - 音楽の演奏者や音楽 CD の販売元(レコード会社など)、写真や手紙の所有者、新聞社、美術品を展示している美術館などは著作隣接権を持っています。作品内で著作物を利用する場合は、「ご協力のお願い」を配布し、全国統一の様式 2-5「取材許諾と著作物等ご提供のお願い」などにより許諾を受けて下さい。また、CD の販売元(レコード会社など)は、様式 2-4「音源使用許諾書」などにより音源使用に対する許諾を受けて下さい。
    - 自作や自演の著作物は、著作隣接権の欄に「○○高校放送部(自作)」のように記入し、許諾書が不要のため許諾書の欄は斜線を引きます。
    - アーキー「School Life シリーズ」・EX インダストリー「著作権フリー音楽 CD」の素材、NHK クリエイティブ・ライブラリーの素材、権利消失の著作物の場合は、許諾書が不要のため許諾書の欄は斜線を引きます。
  - ④ オリジナルの所有者
    - 音楽 CD、写真、手紙、美術品などの著作物の所有者を記入して下さい。音楽 CD や素材集 DVD などは、番組制作者(校)が所有している必要があります。

## 2. 著作権処理について

- (1) 作品に使用した著作物(音楽・効果音・新聞・書籍・美術品・写真など)については、著作物権利者ならびにJASRACなどを通して著作権の処理が必要です。著作権処理は校内放送研究166号を熟読し、各校で責任をもって確実に行って下さい。
  - (2) 作品は審査用とバックアップ用の両方を提出して頂きます。JASRACの録音利用申込書・明細書(ラジオ番組)、及び映像ソフト録音利用申込書・明細書(テレビ番組)については、審査用の申請とバックアップ用の申請が必要になります。手続きの上、許諾番号を作品(審査用・バックアップ用)と番組進行表(審査用・バックアップ用)に記入し、録音利用許諾書及び映像ソフト録音利用許諾書の写しを番組進行表に添付して下さい。
  - (3) 自作・自演して自分たちで録音・録画した音源などの著作物に関しては、著作権処理は不要です。使用著作物一覧表では、著作権処理が不要なものには、番号に○を付けて下さい。
  - (4) 著作権フリーの場合、素材のタイトル(曲名)が記載された部分のコピー(A4縦)と、著作権処理不要(使用条件)が記載された文面のコピー(A4縦)を、番組進行表に添付して下さい。  
コピーの右上に著作物番号を朱書します。(アーキー「School Lifeシリーズ」・EXインダストリー「著作権フリー音楽CD」の利用では、コピーの添付は不要です。)
  - (5) インターネット上などでダウンロードした音源(著作権フリーと称されているものも含む)の使用は禁止します。また、携帯電話などの着メロ・着うたなどの使用も禁止します。
  - (6) レンタル店、図書館などから借りた音源の使用は禁止します。音楽CDや素材集DVDなどは、番組制作者(校)が所有している必要があります。
  - (7) NHKクリエイティブ・ライブラリー(<http://www.nhk.or.jp/creative/>)で公開されている素材、効果音などが使用できます。使用する場合は、使用許諾は必要ありません。また、このコンテンツでの使用に限り、作品内で「NHKクリエイティブ・ライブラリー」と表示する必要はありません。
  - (8) 市販のCDなどの音源を利用する場合、著作隣接権の処理が必要になります。校内放送研究166号様式2-4「音源使用許諾書」などを利用し音源使用の許諾を受けて下さい。様式2-4の「音源使用申請に対する回答書」などの音源使用許諾を証明する書類の写しを番組進行表に添付して下さい。(アーキー・EXインダストリーは不要です。)
  - (9) 音楽以外の著作物を利用する場合でも、関係権利者・団体から使用許諾を受けて下さい。62回大会から、JASRAC・レコード会社関連の音楽著作物以外について、取材関係者に配布する様式「ご協力のお願い」、著作物等の許諾に関する様式2-5「取材許諾と著作物等ご提供のお願い」を使用する事になります。取材対象者や著作物権利者に「ご協力のお願い」を配布し、依頼の趣旨を説明します。作品内での著作物利用の許諾に関しては全国統一の様式2-5「取材許諾と著作物等ご提供のお願い」を使用し許諾を受けて下さい。既に取材をされている学校は、上記に限りません。様式2-5の備考欄には、番組進行表(使用著作物一覧表)と同じ著作物番号を記入し、様式の右上にもその番号を朱書して、番組進行表に添付して下さい。
- \* JASRAC(日本音楽著作権協会)が管理する楽曲の検索、録音利用申込書(新譜用)・録音利用明細書のダウンロード、映像ソフト録音利用申込書(新譜用)・映像ソフト録音利用明細書のダウンロードは、JASRACホームページ(<http://www.jasrac.or.jp>)をご確認下さい。
- \* 著作権処理は校内放送研究166号を熟読し、各校で責任をもって確実に行って下さい。

**提出物確認一覧** 提出前に確認をし、チェック欄に○を付けて下さい。

部 門 名	提 出 物	提出日	チェック欄
研究発表 部門	参加申込書 [添付メール]	6月5日必着	
	研究発表要旨 2部 : A4用紙	6月12日	
	研究発表要旨テキストデータ [USBメモリー]	6月12日	
	発表で使用するパソコンのデータ[CD-R]	6月12日	
	番組進行表(研究発表用) 2部 : 様式2-1~5	6月12日	
	著作物利用の許諾書 : 番組進行表に添付	6月12日	
アナウンス 部門 朗 読 部門	参加申込書 [添付メール]	各締切日	
	原稿 2部 : A4用紙2つ折	各予選日	
ドキュメント 部門 (ラジオ・テレビ)	参加申込書 [添付メール]	6月5日必着	
	作品(審査用とバックアップ用) 計2本	6月12日	
	制作意図のデータ [USBメモリー]	6月12日	
	番組進行表 2部 : 様式2-1~5	6月12日	
	著作物利用の許諾書 : 番組進行表に添付	6月12日	
創作ドラマ部門 (ラジオ・テレビ)	参加申込書 [添付メール]	6月5日必着	
	作品(審査用とバックアップ用) 計2本	6月12日	
	制作意図とあらすじのデータ [USBメモリー]	6月12日	
	番組進行表 2部 : 様式2-1~5	6月12日	
	著作物利用の許諾書 : 番組進行表に添付	6月12日	

\* 研究発表ならびに複数の番組作品を提出される場合は、研究要旨データ、制作意図データ、あらすじデータを 1つのUSBメモリー に保存して提出して下さい。

**番組部門提出作品・番組進行表 確認表** 提出前に確認をし、チェック欄に○を付けて下さい。

部 門 名	規定時間	作 品		番組進行表				
		テストパターン 前後 5秒	クレジット (コール、タイトル)	表紙	CUE シート	著作物 一覧	書式 2-5他	JASRAC 関書類他
ラ ジ オ	ドキュメント部門	6分30秒~7分						
	創作ドラマ部門	8分以内						
テ レ ビ	ドキュメント部門	7分30秒~8分						
	創作ドラマ部門	8分以内						

- \* 使用著作物一覧表では、著作権処理が不要なものには、番号に○を付ける。
- \* JASRACの許諾を受けた場合、作品(CD-RまたはDVD-R)ならびに番組進行表の表紙に許諾番号を記入する。
- \* 様式2-5の備考欄には、番組進行表(使用著作物一覧表)と同じ著作物番号を記入し、様式の右上にもその番号を朱書する。
- \* 著作権フリーCD等を利用する場合は、素材のタイトル(曲名)が記載された部分のコピー(A4縦)と、著作権処理不要(使用条件)が記載された文面のコピー(A4縦)を番組進行表に添付する。コピーの右上に著作物番号を朱書する。ただし、アーキー「School Life シリーズ」・EX インダストリー「著作権フリー音楽 CD」は、使用条件の添付は不要です。